

金融市場NOW

国内投資家の11月外債投資は約4年半ぶりの高水準

年金を含む信託銀行が過去最大の買い越し

- ▶ 国内投資家は11月、外債を5.0兆円買い越し。買い越し額は約4年半ぶりの高水準。投資主体別では、年金を含む信託銀行が過去最大となる3.0兆円買い越し。
- ▶ 対象主要国・地域別では豪州債券の買い越しが目立つ。豪ドルの対円での上昇（円安・豪ドル高）要因となっている可能性も。

(1) 11月の外債投資は約4年半ぶりの高水準

- 12月8日に財務省が発表した11月の「対外及び対内証券売買契約等の状況」によると、国内投資家の対外債券*投資（買入－売却）は+5.0兆円と、10月の+1.4兆円を大きく上回り、2016年7月（+5.4兆円）以来の高水準となりました。買い越しとなるのは6ヵ月連続です（図表1）。
- 12月に入っても国内投資家の買い越し基調は続いており、財務省の週次統計によると、12月5日までの1週間で+1.3兆円となっています。

(2) 年金を含む信託銀行の買い越し額が急増

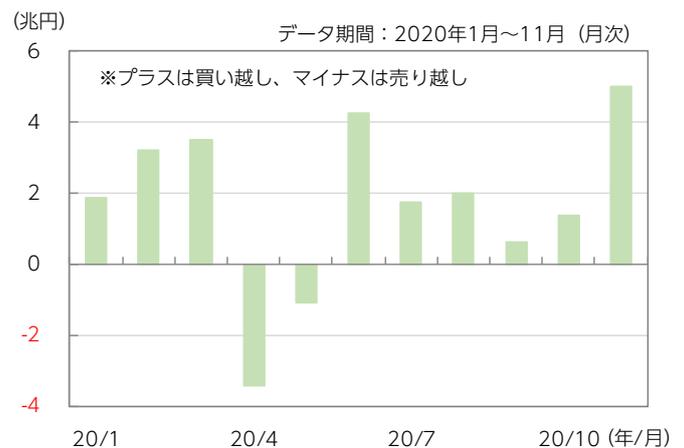
- 対外債券投資の状況を投資主体別にみると、年金を含む信託銀行が+3.0兆円と10月の+1.1兆円から拡大し、過去最大の買い越しを記録しています。その他、銀行が+1.6兆円、投資信託が+0.2兆円、生保が-0.2兆円等となっています。生保は5ヵ月連続で売り越ししていますが、売り越し幅は9月をピークに縮小傾向となっています（図表2）。
- 尚、信託銀行は、11月の対外株式投資（買入－売却）については-2.5兆円と過去最大の売り越しを行っています。11月の世界株式（MSCIワールドインデックス、米ドルベース）は前月末から約13%上昇しており、年金がリバランス（資産配分の再調整）を行い、資金を株式から債券にシフトさせたことが影響しているものと思われます。

(3) 豪州債券の買い越し続く

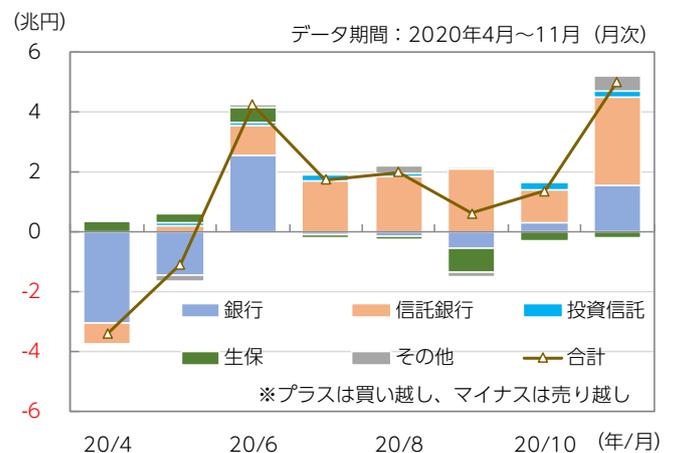
- 同日、財務省が発表した10月の国際収支統計の国別対外債券投資統計によると、国内投資家の主要国・地域別外債投資は、米国が+0.52兆円、アジアが+0.16兆円、豪州が+0.46兆円等となっています。豪州債券の買い越しは7ヵ月連続、また、年度初から10月までの累計では+2.81兆円（図表3）と、前年同期の+0.15兆円を大きく上回っています。豪ドルは年度初から11月末まで対円で16.2%上昇（円安・豪ドル高）していますが、国内投資家の豪州債券投資の活発化が影響している可能性もあります。

*償還までの期間が1年を超える米国等海外の中長期債（注）+は買い越し、-は売り越しを示す
出所）図表1～3は財務省及びCEICデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成

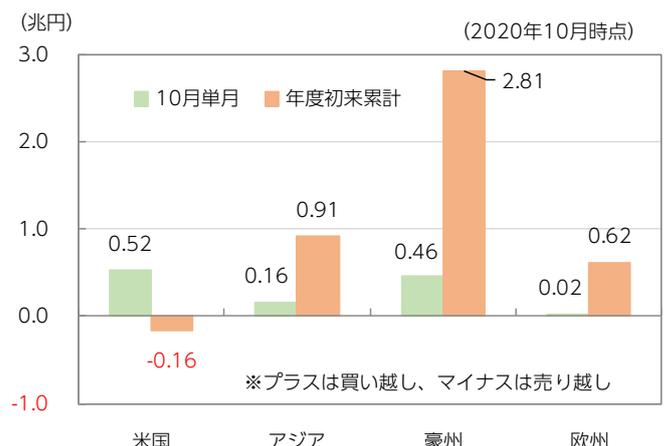
図表1：国内投資家の対外債券投資動向



図表2：投資家別対外債券投資動向



図表3：主要投資対象国別対外債券投資動向



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>